

「 さ さ え 」

2010年7月発行 情報誌 第32号

発行 NPO福祉用具ネット事務局

住所:福岡県田川市伊田4395(福岡県立大学附属研究所 生涯福祉研究センタ - 内)

TEL/FAX: 0947 - 42 - 2286

E - mail npo-fukusiyogunet@sage.ocn.ne.jp

HP <http://www10.ocn.ne.jp/~npofynet/enter.htm>

情報誌「ささえ」は年4回(1月・4月・7月・10月)発行しています。

印刷 よしみ工産(株) 北九州市戸畑区天神1丁目13-5

福祉用具はあなたの自立をささえます

あなたのささえがNPO福祉用具ネットを元気にします

床ずれ防止ハイブリッドエアマット「ピーウェーブ」

P-Wave



介護保険貸与対象商品

本製品は福岡県産炭地域振興センターの助成を受けて産学官で共同開発した商品です。

特長

床ずれが一番発生しやすい腰周り部分だけが膨縮するエアマットタイプ。

部分的なエアマットなので浮遊感が少なく寝心地がとてもよい。



特定非営利活動法人
NPO福祉用具ネット

「大切な芽を皆さんのやさしさに包まれながら育んでいきたい…」

出かける「場」をつくる

NPO 福祉用具ネット理事長 豊田謙二(熊本学園大学教授)

今年も8月上旬に、ドイツで認知症ケアに関する現地調査を実施する予定である。認知症のある人は、コミュニケーションに混乱が生じて、人間関係づくりに失敗する。それは家族のなかで、そして家族の外にある社会関係においても同じ悩みを抱えるのである。認知症は進行性を特徴としているので、次第に症状が重く、つまり自分自身での身体のコントロール程度が難儀になると、認知症のある人の意思、あるいは意欲を伺うことが難しくなってくる。当事者の自己決定を尊重するとしながらと支援・援助という介入がぶつかるのである。

つまり、援助の目標は自己決定を支えること、と言いながら援助そのものが自己決定を犯し得るのである。

熊本県玉名市に若年性認知症の人が通う施設がある。農村の一隅に、その景観のなかにしっかりと落ち着き、農業者の一戸建て民家そのものである。若年性認知症のある人が6名、高齢で認知症のある人が20名が通っている。「若年性」の人は仕事の面では現役であり、認知症の進行はその人格を傷つけてしまう。施設特有の「日課」がなく、精神科病院から受託依頼があるほど、施設運営の社会的信頼度は大きい。施設は、「特定非営利活動法人たまな散歩道」、その理事長である西村哲夫氏にその設置理念などを伺った。

この施設は「デイサービス」を事業としている。在宅の認知症のある人、あるいは要介護高齢者には、まずはデイサービスの利用を勧めるのが基本的な生活設計である。「居場所」と「出かける場」、その循環的な活動形態が日常生活であり、その過程において社会的な人格の形成が期待されるのである。それは人生の終末にかけて終止やむことの無い生活循環である。

ところが、その「デイサービス」を嫌悪する人は多い、とくに男性では。「たまな散歩道」の先駆性は、毎日の日課は利用者がその日に自分で決めること、スタッフは利用者の仲間であること、スタッフは週休2日で、5時に終わり残業なし。利用者の作業メニューには3つがあり、「ガンガン作業」「ユツタリ作業」「イキイキ作業」のなかで選択し、午前と午後は変えてもよし。作業はスタッフとの共同作業であり、介護—要介護の管理関係はつくらない。この点が学びに値する。そして、良き仕事のためにスタッフに十分な休暇と給与を提供する。運営はスタッフの給与を最重視して、施設整備は共同での課題とし、経費削減を基本とする。

利用者自身が毎日の「仕事」などの、自分で目的を設定できるように、朝の「オリエンテーション」が開かれる。自分の「仕事」を自分で決めるのが良い。さらに、若年性認知症のある人が「仕事」のために通うことが、斬新である。認知症という病のために仕事を人生の途中で切断された苦しみを少しでも癒せるからである。

気持ちを休めて癒される「居場所」と社会的な関係のなかで緊張を要するものの、友や仲間をつくれる「出かける場」は誰にとっても生活の営みにおいて重要である。だが、自分自身で「場」を造れない状況が生じる。専門職による支援を必要とするのである。それが、「ソーシャル・ワーク」である。

総合印刷 よしみ工産株式会社 (NPO福祉用具ネット団体会員)

「きっとお役に立てることがあります！！」

印刷に関することは何でもご相談下さい。

印刷物全般 パンフレット・ポスター・リーフレットのデザイン、印刷

少数部の印刷製本(オンデマンド印刷)

封筒・名刺・挨拶状の印刷など

本社 TEL 093-882-1661 FAX 093-881-8467

自動採尿システム【尿吸引ロボ ヒューマニー】を上手に使うために その3

NPO福祉用具ネット 事務局 大山 美智江(看護師)



尿吸引ロボ「ヒューマニー」って な～に！

- ・ 専用の尿吸引パッドに内蔵されたセンサーが排尿を検知し、尿を瞬時に自動吸引します。タンク内にたまった尿は簡単にトイレにすてることができます。つまり、オムツと吸引器が合体したものです。
- ・ 介護保険対象品ですので本体は特定福祉用具購入助成の対象品として、在宅向けは一割の自己負担で購入できます。

ヒューマニーを上手に使うためには利用される方の身体状況に応じた工夫が必要です。

「尿が外に漏れて困るという方」、「お尻が痛い方」……以下の点に心当たりはありませんか？

パッドのしくみを理解しよう

採尿パッドのどの部分から尿が吸引取られるのかを理解してパッドをあてましょう。

姿勢による尿の流れを考えて、吸引部分に尿が流れ込むように工夫してあてるとうまくいきます。

当て方の基本は密着させること

基本的にはネットパンツ等で採尿パッドの位置がずれないように密着させることです。せっかく適切な位置に装着をしても、寝返りやりハビリ・食事などでギャッジベッドを挙げたり下げたりしたときにパッドがずれてしまったら、パッドの外に漏れてしまいます。股ぐりの部分はハイレグにしてソケイ部の隙間をつくらないようにして下さい。ネットパンツのサイズも大きすぎない適切なサイズをお選び下さい。

体位変換時やりハビリなどの後は、パッドがねじれたり、ずれたりしていないか手をいれてパッドの位置を確認して下さい。そんな一手間が成功の秘訣です。

移動や移乗の介護はパッドを引っ張らないように配慮すること

体位変換時や車いすへの移乗介助の際にオムツがずれるような介護の仕方をするとうパッドの位置がずれてしまいます。特にズボンなどを引っ張るとオムツもずれてしまいますので注意して下さい。

採尿パッドとテープ止めを併用している場合は内側の採尿パッドがずれやすくなっています。

パッドがずれやすい場合は「滑り止めマット=玄関マットなどの下敷き用」をパッドサイズにカットしてテープ止めと採尿パッドとの間に挟むとパッドがずれ難くなります。

車いすに座るときはクッションを使うこと

ヒューマニーの使用の有無に関係なく、車いすに座る場合は厚さ5cm以上のクッションを必ずご使用下さい。ヒューマニーのパッドの吸引部分やチューブの差し込み口の位置のズレが原因で不適切な位置にパッドがずれてしまうと、尾骨部分を圧迫して痛みがでたり、床ずれの原因になります。

車いす使用時は、クッションを使うこととズッコケ姿勢にならないように十分ご配慮下さい。

一日一回はスキンケアを丁寧に行ないましょう

ヒューマニーを上手に使うためには、一日一回の丁寧な陰部洗浄がお勧めです。入浴日以外の日には石鹸を使ったケアをしてあげて下さい。オムツただれや床ずれの予防にもなります。

きれいにした後は保湿クリームや排泄物の皮膚への付着を防ぐ撥水性のクリームなどを使うとよいでしょう。

* 次回は男性パッドの工夫についてご紹介します。

足と靴の相談室

～畑にも履いて行ってるのよ～

福岡県立大学附属研究所生涯福祉研究センター

助手 中藤広美

2008 年 8 月にオープンした私どもの「足と靴の相談室」には、電話相談も含めてこれまでおよそ 150 件の相談が寄せられました。本学の場合、相談室が常時開設されているわけではありません。そのような条件から、相談をしてこられる方の多くは、足部や脚部に疼痛があり、なかば諦めかけていた方たちで、「足と靴の相談室」があるのなら相談にのってもらって何とか疼痛を和らげたいと思っておられる方たちです。

膝の痛みや外反母趾などで痛みがありなかなか合う靴が無くてお困りの方は、連携している整形外科をご紹介します。そして医師によって治療用の靴型装具の製作が必要であると指示された方は、健康保険で靴を作り治療にあたります。本学の「足と靴の相談室」は、その靴の製作のお手伝いも担っています。

リピーター

相談室が開設されてこの 8 月で満 2 年になります。前回、健康保険で治療用装具を製作された方たちの靴にそろそろ故障が出始めているようです。前号でご案内したように、カカトの摩耗から始まって、泥などによるひどい汚れの方もあらわれます。決して靴を乱暴に履いているわけではありません。皆さん、とても大切に履いてくださっています。しかし、1 足だけのため、毎日それを履き続けるから靴の摩耗も早いようです。修理に出したいけれど、その間、履く靴が無くなり困る。しかし、修理をしないまま履き続けると、せっかく治まっていた足の痛みが再び発生してしまいます。

近頃、そのような方がチラホラおいでになられています。「足と靴の相談室」のリピーターです。

畑にも履いて行ってるのヨ

先日、リピーターの一人 A さんが来室されました。10 か月ぶりでした。A さんは、この間フォローアップでおいでになり季節に合わせた靴を購入したり、足や靴のチェックをしていました。

A さん「先生！ずっと調子が良かったんですけど、最近、ちょっと足の調子が悪いんですよ。外反母趾は問題なくなりましたが、足の甲の部分が痛くて…」

1 年半前に来室した A さんの主訴は「外反母趾で第 1 中足骨骨頭足部（親指の付け根の外側）が痛くて歩けない。」ということでした。治療用装具として靴型装具のご提供をしたところ、痛みが緩和され、元々活動的だった A さんは大好きな旅行を楽しみ、「二万歩、歩いても平気でしたよ～♪」なんてうれしい報告をしてくれました。

しかし、先日の A さんは足の甲の痛みで悩んでいま

した。元々、先生の診断によると甲部分のリスフランという関節に変形がでていました。その痛みが再度でてきていたのです。靴を拝見したところ、踵部分の摩耗が激しかったようです。また、A さんは、この靴なしでは生活が出来ないと言われていたのです。

A さん「私ね、畑にもこの靴を履いて行くんですよ。泥はあとで払えばいいんだもん。」

これ以外の靴を履くと、あとが痛くてダメなのよね。」畑にもー！？ @ @

そこまで効果を感じてくださるとは有り難いことです。A さんのフットプリントをとり足部、脚部の様子を拝見し、歩容チェックを済ませて対応を話し合いました。A さんは、この痛みをなんとかしたいとの事でした。前回、おつくりした時には、FPU 靴をベースとした靴型装具をご提案したのですが、別のデザインのものを強く望まれ FPU 靴ベースのものは導入しませんでした。しかし、今回はリスフラン関節の痛みをカバーするためにも、本底がしっかりしている FPU 靴ベースのタイプを強くお勧めしました。さらに、疼痛のある関節をカバーするためにメディカルタイプのロッカーバーの試着をしていただきました。

ロッカーバーとは、つま先部分と踵部分がその方の骨格に合わせてなだらかに削られたもので、歩くときに地面を蹴って前にすすむ役割を手助けしてくれる機能です。足関節にトラブルのある方には有効です。

靴1

靴2



今回、A さんには靴1のデザインに靴2のロッカーバー機能を足し、A さん専用のアーチサポートを付けた靴をご案内することとなりました。

お知らせ～足と靴の相談室 in 福岡県庁～

このたび、FPU 靴がバージョンアップしました！

福岡県立大学が産学連携で開発した通気のよいコルク性のフットベッドを装着しています。これを機に 6 月 22 日～24 日、そして 7 月からは第 3 火曜日～木曜日に、福岡県庁地下 1 階総合売店に出店することになりました。

「足と靴」に関する啓発活動と、FPU 靴の PR、足部や脚部のトラブルでお悩みの方への相談実施サービスを目的としています。お近くにおいでの際にはぜひお寄りください。

問合せ先: Tel 0947-42-2119 福岡県立大学附属研究所生涯福祉研究センター 中藤

今、思うこと。「福祉用具の開発に王道なし」

(その22)

九州日立マクセル(株)開発本部 坂田 栄二
(NPO福祉用具ネット理事)

商品化の決断は？

設計者の帰山が台湾で試作してきた車いす用体重計は、社内の注目を集めていた。しかし、商品化するかの決断は、まだ下りていない。

この開発会社では、開発を進める際に、社内の設計審査システムを通過しなければならないからだ。このシステムは、開発着手段階、構想段階、設計段階、性能試作段階、量産試作段階などの多くの関門をパスする必要がある。この関門は、設計だけでなく品質保証部門、製造部門、資材部門、販売部門など関係者が集まり、構造、作り方、売り方などが審査される。

審査会の予定日は、開発着手当初から計画が組まれており、その日が近づいている。

帰山が悩んでいたのは、この審査会で説明する需要データである。商品自体には自信があったが、果たして何人のお客が購入してくれるか、かいもく見当が付いていない。販売部門もまったくの素人であるため、マーケティングの方法も定まっていなかったから、何台売れるかの意気込みも立たず、帰山に販売見込みデータも提供できないでいる。

悩みは、生産数！

帰山は痺れを切らして、大山に電話した。

「大山さん！販売見込み数は出た？」

「まだよ！松尾先生もお忙しいから……。一度、先生のところに行ってみらんね？値段の相談もせないけんし(しなくちゃいけないから。)」

隣にいと、大山の大きな声が電話越しに聞こえてくる。



ドイツ製検定付チェアスケール seca959
定価 339,000 円

大山は、更に大声で

「ネットで調べちゃったら(調べていたら)、よく似た

ものがドイツ製で有ったばい。パイプ式で軽そうだけど、値段が33万円もするとはい！一般家庭では手が出せんきね(出せないからね)……」(写真参照)

「やっぱー(やはり)、10万円を切らんとね。数は出らんと思うよ。数が少ないと値段は下がらんからね」

帰山も価格は下げないといけない点では同調していた。どうやら2人の間の値ごろ感は10万円を切るころのようだ。

「来週、新潟でリハ工の学会があって、私もミニクッションの成果発表するから、行ってくるわ。そん時に松尾先生とも話ができるし、ほかのメーカーの様子もわかるから。」

それを聞いて帰山は、仕方がないかとあきらめて、設計審査会の日にちの変更をすることにした。

学会で見つけたもの

大山が学会から、戻ってきた。

「こんなんが展示されちゃった！」



2008年 第23回リハ工学カンファレンスに展示されていた木製の車椅子体重計

大山が差し出したパンフレットには、木製の体重計が載っていた。全体が木製で軟らかく、やさしい感じの商品だ。大山は、自信を持って言った。

「販売する目的じゃなくて、福祉用具のコンテストに出していたみたい。私たちが最初に考えたのと同じようにしているよね。」

イスの脚部と座部とを別体を作り、その間の結合部分に、家庭用の体重計を挟み込んだ構造だ。アイデアは、みんな似ているものだ。しかし構造が似ていることよりもっと意を強くしたのはやはり、市場はこの種の商品を欲していることである。

しかし、依然として数の見込みは立たないままである。帰山は、迷いに迷って設計審査会を当面、延期することを決断せざるを得なかった。

それから2ヵ月後……

HCRに出展してみよう

帰山の介護機器開発グループはその年の9月24日から3日間、東京で開催される国際福祉機器展HCRに向けて新商品の最後の追い込みに入っていた。

帰山が設計審査会を延期したのは、このHCRに体重計を展示し、市場の反応を見たかったからである。

展示会の初日の会場で、帰山は体重計をブースの入り口の一番目立つところに展示した。

開場とほぼ同時に、お客がやってきた。何人かが交代で体重を計っている。

「ちゃんと体重が計れるわ。」

「こりゃ、楽だわ。座ったままで計れるじゃない！」

（お客の言うとおりだ。この商品は「楽座計」と言うんだから。そばに立っていた大山は、自分たちの意図が伝わったことが無性にうれしかったことを今でも覚えている。）

「車いすから移乗するのも楽だね。この肘掛を上跳到ね上げれば、スーと横に動けるからな……」

「ほかの人から体重メータが見えなくて良いね。」

実際に座って試した人は口々に良い評価をしてくれた。帰山も一安心の様子である。



HCRで展示した体重計

誰が買うんだろう？

しかし、良い言葉ばかりでなかったことが、後の帰山を悩ますことになる。お客の言った1言とは、

「誰が買うんだろう？」

帰山は、

“決まっているだろう、車いすの利用者に。”

そう思って、自分を納得させたが、そのお客がなぜそう言ったのか図りかねていた。そのお客の言葉に対する答えがあまりにも当たり前すぎたからである。怪訝そうな顔の帰山に、お客は手に持ったパンフレットを見ながら、小さな声で聞いてきた。

「これ、いくらするんですか？」

お客から突然聞かれたこの質問に、帰山は慌てた。当然聞かれる事だと思って、答えもちゃんと用意していたはずだが、なぜか動揺した。

とっさに、帰山は“10万円を切る”と言えなかった。

「いくら位だったら良いでしょうか？まだ価格は検討中なんです。」

逆に、帰山はお客に質問を返してしまった。

「うーん……、3万円くらいかな……」

このお客の答えに、帰山は愕然とした。

「家庭用の体重計は、1,000円以下でしょう？それにイスが付いた程度だからそれくらいと違いますか？」

一見して、ケアマネさんかヘルパーさんを印象付けるこのお客の回答は筋が通っている。

大山がそこにやってきた。

「これは、ご利用者さんだけでなくご家族の方も使えるんですよ。お風呂上りに汗を拭きながらこのイスに座って体重が計れるんですよ。」

大山のその説明に、

「そうねー、それは便利かもしれないけど……」

と言いながら、まだお客は納得するでもなく、去っていった。

お客の思いが開発者を育てる

“他のメーカーの商品は20万円から30万円もするのに、何で3万円で出来ようか……”

お客が去った後の帰山の率直な思いである。しかし、大山は、

「何で、もう少し安くならんのかね！」

と帰山に詰め寄る。

「安くすれば、もっと数が見込めるんじゃないのかとあのお客は言いたかったんじゃないの？それが3万円という値ごろ感を言っていたのじゃないの？」

お客の声は正直である。私たち開発者は、本能的にまず機能を重視して設計を進める。その結果、構造は複雑になり、コストは高くなり、逆に使い方が煩雑になってお客からそっぽを向かれてしまう。そんなことが往々にして起きているが、そのことに気づかずに開発を進めている。今回の展示会でもっとも学習させられたことであろう。

素直な設計で、手ごろな価格を目指す設計姿勢を忘れてはならない。帰山は、今、そう思って設計を見直している。

シンプルな構造で、やさしい素材を使い、誰でも簡単に扱え、使用しないときは邪魔にならない折りたたみ構造など、帰山が悩みながら見直している課題は山積みである。

そして、近いうちにお客様に満足していただける商品が出来上がることを夢見てチャレンジしている。皆さんも是非応援してください。（つづく）

心ひかれた福祉用具 マイチョイス

(シリーズ11)

NPO 福祉用具ネット会員(理学療法士)

井内 陽三

母親の自覚

50代で脳血管障害を発症したBさんは、病院でリハビリを受け自宅に。帰宅して少しした頃に自宅に伺いました。後遺症として片麻痺があり、すべての動作を片手でする状態。それでも、杖や装具を使い、自宅内は自分で移動できるまで回復していました。病院でのリハビリを受け、家事動作も少し行えるようになったとのことでした。日中は、家族が不在。特にすることがなく過ごしている状態でした。特に火の扱いは危ないと、食事の準備も家族が帰ってから行う状態。しかし、以前は、家事全般はすべて「母親」として、行っていたとのことでした。

初めて自宅に伺ったとき、表情は硬く、あまり積極的に会話をしたくないような様子。ベッド上で寝たり起きたりの生活に突入しているようでした。

「こりゃいかん！」と心の中でつぶやき…。

すぐに家の中を動く練習を行い、外歩きの練習も開始。通所のサービスも併用し、住宅改修などで動く環境を整えることで、体力の向上は図られ、徐々に口数が増えるようになってきました。けれど、まだまだベッドに座ってテレビを見る生活は続きました。

しばらくして、屋外が一人で歩けるぐらいになってきたので、買い物物の練習を開始。近所の商店まで行き、店の方にリックサックに商品を詰めてもらい、背負って帰るようにしました。練習後、2、3回は自分で買い物に行ったようですが、すぐにやめてしまいました。話を聞くと、「子供が買ってきてくれるから、買い物には行かないでいいんです」と。

次に、他の活動で動いてもらおうと、自宅で庭でのガーデニングを提案。歩きやすいようにタイルを敷き、扱いやすい高さの棚に鉢を載せ、しばらく放置されて手の入っていないところの草刈りをし、見違えるほどきれいな庭がよみがえりました。手伝った私も「才能あるかも？」というできばえ。その後、数回は、水やりをしたようでしたが、「庭でこけると危ないので、庭に出るのはやめました」と。

ならばと、裏手に洗濯物の干し場の台を移動し、掛けやすい高さに竿を設置。洗濯物のしわを取る練習も行い、数回練習。しばらくすると、「週末に家族がまとめてしてくれるから、洗濯はしなくて良くなりました」と。

正直、徐々に活動につなげる提案がなくなってきました。私も「どうしよう…」と…。

しばらくして、別の方と、今日のおかずの話をしていて、ふと、「Bさんの好きなものはなんだろう?」「どんな料理が得意だったのかな?」と、頭をよぎり、次に訪

問で伺った際に話をしてみました。この中で、「うちの台所は狭いから動けんねー」

「(リハビリ)病院でも、(練習)したけど、難しかったー」「昼御飯は(家族が)作ってってくれるけど、晩御飯は(家族)が帰ってから作るから遅くなるで、お菓子ばかり食べるんよねー」

などの話が次々に出てきました。そこで、「必要な練習は、これかな?」と、調理訓練の提案をしました。はじめは、「あぶないからー」と渋っていましたが、「まずは、皮むきで下ごしらえからしてみませんか?」、いろんな作業がある「カレー」を作ることにしました。

まず、まな板に釘を打ち、材料がずれないように、枠を打ちつけ、調理訓練開始。包丁でシュシュ。結構時間がかかり、「手がきついねー。やっぱり片手は…」

しかし、練習2回目には、鉄の枠のような物体登場。私は知らなくて「は?これなんですか?」「ピューラー。知らん?(知りませんか)」と言われ。

「こうして使うと皮むきは早いんよ」と、すでに2回目にして、私に主導権はなく。

「これなら、肉じゃがやら、シチューやらしいかもね」と、メニューもどんどん出てきました。

3回目の練習のときには、

「子供の味付け合わんね。自分の(味付け)方がいいとある。(子供が作ると)私のすかんの(嫌いなもの)いれるし」

「この前せっかく作ったのに、味がどうの言うんでケンカしたんよ」と、怒ったり、笑ったり、大忙し。

その後、晩御飯を時々作るのが、Bさんの役割になりました。そうすると、買い物も自分でするようになり、重くて持ち運べないものは、商店の人に頼んで届けてもらうようになり、甘い物が大好きなので、買い物のたびに買うようになり、体重も(ちょっぴり?)増えてきました。(ナイスだったかな?)

時々、「水まきのとき庭で転びました」と明るい笑顔で話され、びっくりさせられることも。自宅での活動が一人で行えるようになったため、通所のサービスの利用のみに切り替わり、伺うことはなくなりました。

「子供が」「子供が」の会話が多くなってから、すぐのことでした。

1年後ぐらいに担当のケアマネージャーの方と会い、(私)「最近、Bさんどうですか?」

(ケアマネ)「元気ですよ。少し体重が増えたかな～。この前、こんなこと言っていましたよ～」

(本人)「家で練習してたときは、とても練習がきつくて嫌で嫌でやめたかった～。先生(PT)が鬼のようやった。でも、おかげで、家族が帰ってくるのが遅いときは、御飯が作ってあげられるようになった～。」

(私)「ええ～!そんなこと…厳しかったですかね～。」(がんばらせすぎた自分にやや反省…)

事務局からの報告

いよいよ新しい年度がスタートしました。気持ちを切り替えて頑張らなければいけないところですが、今年度も皆様のより一層のご協力をお願い致します。

(事務局 大山)

平成22年4月から6月までの事務局の動き

■福祉住環境コーディネーター協会主催見学会の企画運営

- ・4月24日大分県社会福祉介護研修センター
- ・5月10日(株)有蘭製作所
- ・6月26日山口夢のみずうみ村デイサービスセンター以上、3件の見学終了。

■各種研修会

- 5月22日 福祉用具研修会「ヒューマニエの使い方」124人参加
- 6月12日 介護者のスキルアップ研修「摂食・嚥下障害のある方への対応パート1 基礎編」57人参加
- 6月14日 福祉用具研修会「新しい排泄ケアを考える」in久留米 42人参加

■開発相談は随時対応しています。

■尿吸引ロボ「ヒューマニエ」の使い方相談やマニュアル作成など

- 福岡県NPOセンターに事業および決算報告等提出
- 法務局に会計報告等提出
- 福智町高齢者体力測定も1回目6月14日実施

平成22年度通常総会開催

平成22年5月12日水曜日18時から19時まで、平成22年度の通常総会を開催しました。正会員数113名の内、委任状含む99名の定足数を確認し開会宣言、平成21年度事業報告及び決算報告が行われ、平成22年度事業計画案と予算案に関する件、任期満了に伴う役員の改選について全会一致で承認されました。

平成22年度福祉用具研究会スタートしました

今年のテーマを「車椅子と姿勢」について研究会申込者数36名。みんなで学ぶ研修会です。皆さんも仲間になりませんか？

第1回目:5月13日18時~20時まで、担当井内

テーマ「車いすの姿勢についての視点を考える」

第2回目:6月17日18時~20時まで、担当井内 大山

テーマ「車いすの種類とクッションについて」

第3回目の予定は

テーマ「動作と車いすとの関係を知る」

日時:7月20日18時から

オムツフitter3級研修会2次募集開始

会員以外の方の募集を開始します！

「あなたは上手にオムツをあてることができますか？」心地良いオムツの当て方とは？……

今回の研修会は京都むつき庵様にご協力をいただき、私達の地域で受講できることになったものです。

既に九州各県からお申込をいただいています。

この貴重な機会に是非受講下さい。

日時:平成22年9月17日~18日(2日間)

場所:福岡県立大学内

受講費用:1人 20,000円

申込締切:7月20日

募集人数:若干名(先着順)

詳細は事務局大山までお問合せ下さい。

7月から9月までの主な事業

福祉住環境コーディネーター協会主催施設見学

申込先は福祉住環境コーディネーター協会本部。

詳しくは、福祉住環境コーディネーター協会ホームページをご覧ください。

8月4日 シーホネンスショールーム

9月8日 TOTO本社工場と歴史資料館

10月9日 クローバープラザ

(NPO福祉用具ネットでは申込は受けられません。)

決定している研修会のご案内

7月17日医療依存度の高い方のケアについて

8月21日摂食・嚥下障害のある方への対応
パート2応用編

9月17日・18日 オムツフitter3級研修

福智町高齢者体力測定

5年目となる福智町高齢者の体力測定を本年度も実施します。8月~9月に実施。

平成22年度新会員募集

新年度の会員を募集しています。

個人会員入会金 1,000円 年会費 4,000円

団体会員入会金 2,000円 年会費 30,000円

賛助会員 1口 3,000円以上から

ホームページから申し込み用紙がダウンロードできます。

また、平成21年度の会員の皆様で、新年度の会費のご入金が済んでいない方は引き続きご支援下さいますようお願いいたします。

お知らせ

新しい研修会のテーマを募集しています。

出前講座を行います。内容や費用につきましては事務局までご相談下さい。